

第2章 京王高尾線（北野～高尾山口）

第1節 単独歩き

高尾山口(14:20)～高尾(15:02)～狭間(15:25)～めじろ台(15:55)～
山田(16:39)～京王片倉(17:17)～北野(17:45)

第144回目のウォーキングは、高尾山口駅＝北野駅間 8.6Kmを2005年月7日（土）実施。午前中は生憎雨であり、本日のウォーキングをするつもりはなかったが、11時過ぎから天気が回復して来たので、本日のコースを急遽思いつく。11時半に朝昼兼用の食事後、早速準備に取り掛かる。近場はアクセスに時間を比較的要しないので、午後からのウォーキングに最適である。ウォーキングを平成12年5月からやっている関係で、近場は殆ど終わってしまった。それで、最近では1回のウォーキングで20Km以上の距離を出すのに骨が折れる。本日のウォーキングは、8.6Kmと距離はないが、京王線の総仕上げとしては意義ある挑戦である。というのは、東府中駅から競馬場線を除き、京王線を踏破できるからである。



※高尾山口駅、高尾駅

本日は、町田からJR片倉駅で下車し、500m位先の京王片倉駅まで歩き、その駅から高尾線に乗り目的地の高尾山口駅まで向かう。そして、高尾山口駅から北野駅まで歩き、再びJR片倉駅まで戻って来て、JR線と小田急線で自宅に帰るというコースである。10Km位のウォーキングなので、3時間位で終わると考えていたが、誤算が生じ4時間要した。誤算の第1は、JR片倉駅から京王片倉駅までに、迷路に入り迷う。恐らく高尾方面ではなく北野方面に向かっていったような気がする。逆方向に行こうとした事例は、佐倉駅、浦安駅それから前回の草加駅でもあった。不案内の土地では起こりうる。これまでの学習効果が功を奏した場面であった。親切な60歳位のご婦人に聞き、迷いから逃れることができる。「私もこれから京王片倉駅まで行きますから一緒に行きませんか。」の言葉に甘え案内して頂く。今でも自分がどう行ったか分析できない。

待ち時間は殆んどなく、14時4分の電車に間に合う。高尾山口駅には14時20分頃着く。高尾山口駅は、午後から天気が回復したこともあり、高尾山に登山をしようとする人達がいた。駅前には850円でナップサックのバーゲンセールがあった。高尾駅から高尾山口駅にかけて、車内から見る限り、電車はトンネルを通過して行ったので、難しいコースになるのではないかと懸念した。しかし、実際歩いてみると、トンネルもなく国道20号線が高尾線の沿って走っており分かり易いコースであった。このようなケースは過去に何度もある。しかし、車内から見た通り難しいコースも多々ある。歩いてみないとわからない。後から考えると、京王片倉駅＝北野駅間に次いで、高尾山口駅＝高尾駅間はやさしいコースであったと思う。上栢田橋（かみくぬぎた）を14時36分通過。頭上のJR線を通過すると、高尾駅への道が前方に見えた。早く曲がり過ぎて、京王高尾駅をカメラに収めようとしたが、改札口は見えず。ここでも、高尾駅に向かっている人に聞いて、改札口への近道を教えてもらう。高尾駅改札口前には15時2分やっとな到着。駅前には、バスターミナルがあり、和民や白木屋の看板もあった。拓殖大学から高尾駅に向かうバスと出会う。兎に角八王子市近郊には大学が多い。途中、道路から30m位の丘にぶつかり、この丘を越えるのに右往左往した。道路工事をしている人に聞いて、狭間（はざま）駅への道を教えてもらう。この丘の上に上がりしばらく進むと狭間駅があった。名の通り、丘の上に狭間駅（15時25分）があった。イトーヨーカドーが駅前にあった。



※狭間駅、めぐろ台駅

狭間駅からめぐろ台駅への道も小高い丘が遮り、複雑な進路を余儀なくなれた。ここでも、洗車をしている人にお尋ねしてめぐろ台駅への道を教わる。懇切丁寧に教わる。それで道に迷うことなく、めぐろ台駅に15時55分到着することができた。太い道路に出て、道路の下を走る鉄道を見つけ、手前を左折して200m位歩いた先にめぐろ台駅があった。この駅は高尾線の中では最も大きい駅であった。駅前はゆったりとしていた。京王堀之内駅と同じ位賑やかであった。駅ビルはマンショウで、啓文堂書店、マクドナルド、バーミヤンがあった。



山田駅

磯沼ミルクファーム

雲龍寺

この駅から 1.1Km先の山田駅に 44 分費やす。本来であれば 15 分位の時間で行けるが。というのは、谷間を越えた先に山田駅があり、「谷間に下り住宅街を通ると道に迷う恐れがある。真っ直ぐ行くと太い道路に出るから、その道を真っ直ぐ行くと山田駅があります。」と犬の散歩をさせていた 20 歳位の若者からアドバイスをもらったからである。若干遠回りをしたような気がしたが、結果往来であった。途中、太い交差点に出たので、どちらの方向に進めばよいのか聞く。「Y字型の交差点を右に曲がって少し行った先に山田駅があります。」と教えて頂く。途中、めじろ台を少し行った先から見えた五重塔（雲龍寺：曹洞宗）を 16 時 27 分通過。

この寺の前には門番の人がいた。ここでも確認のため道を聞こうとしたが、私の呼びかけを無視して 40 歳位の人が通過する。恐らく日本語がよくわからない東南アジア人であったのかも知れない。同じケースは埼京線踏破の際、池袋駅近郊でもあった。このときは女性であったが。日本文化大学総合運動場を 16 時 32 分、東京家政学院大学の看板（南山田バス停）を 16 時 35 分通過した先に、待望の山田駅（16 時 39 分）があった。ここで地図にてめじろ台から山田駅までのコース、さらに京王片倉駅までの道筋を確認する。かなり遠回りをしていた。しかし、急がば回れの格言であったかもしれない。駅前を 30 m位行った先を左折し、磯沼ミルクファーム（16 時 45 分）を超える。ここでも、お孫さん連れ（3 人）に「この道を通り抜けの可否」を聞く。答えは通り抜けできるとの回答を得て、農場の間にある 1 m位の狭い道を進む。途中、2 頭の乳牛がいた。急な勾配を降りた先に 20 頭位の肉牛の小屋があった。



※牛小屋、京王片倉駅

しばらく進むと、北野街道に出る。この道を真っ直ぐ行った先に、京王片倉駅（17時17分）があった。再度、片倉交差点の近郊で、確認のため駅に向かっている人に京王片倉駅を聞く。交差点を左折して線路も潜った先に京王片倉駅があった。片倉駅から北野駅に向かう途中、自分が14時頃この近郊をどのように進んだかを復習する。JR片倉駅から京王片倉駅まで歩いた道筋が何となく思い浮かぶ。JR片倉駅に曲がる目印として本の看板を覚える。湯殿川（打越橋：うちこし）を越え、JR線の打越踏切から500m位先に北野駅（17時45分）があった。この駅は八王子バイパスが手前で交差していた。また、線路に平行して湯殿川が50m先に流れていた。この駅から、再度同じ道を引き返す。このような歩きは鶴見線踏破の際に経験したことがある。新山王橋（湯殿川）を越えると、JR片倉駅（18時10分）あった。



※北野駅、JR片倉駅

駅前には50人位の20歳位の男女が集合していた。何かこれからイベントがあるのであろう。18時20分位の電車で自宅に帰る。自宅には19時20分に着く。本日の万歩計は38,612歩だった。本日は公認の鉄道営業距離は8.6Kmであるが、北野駅からの引き返しを考えれば、10Kmは越えるだろう。本日のウォーキングも戦略に富んだコースで充実した半日を過ごすことができたが、今ひとつ精神的に充実感がない。それは、最近の巨人の戦い方がふがいないので、夕方からのナイター中継を聞く気がしない。

このままの経営では、近い将来巨人は経営難に陥るだろう。もう少し、巨人軍総力あげて顧客の視線に向けた経営が必要だろう。

第2節 高尾山散策（臨時わいわい会に対応）



※高尾山自然研究コースマップ、JR 高尾駅



※ケーブルカー、高尾山駅

平成30年11月12日（日）、昨日大阪からご足労頂いた高松一高関西桜紫会のメンバーとの一層の交流を深めるため、臨時わいわい会を開催する。このようなイベントは初めての試み。昨日の飲み疲れにも関わらず、7名（うち関西3名、関東4名）が10時京王高尾山口駅に集まる。このプランは私が急遽思いつき、昨日同窓会の席上で鉛筆書きし発信した。当初は3名であったが、PRのお蔭で7名となり嬉しい限りだ。



※ひっぱり蛸、薬王院

加えて、藤澤元関西桜紫会会長は歩くのが苦手にも関わらず、ケーブルカーの高尾山駅から高尾山頂までの表参道コース（片道 3.8 km）に並走した階段を使用しない 3 号路を經由し 3 時間位要し完走された。自分のことのように嬉しい瞬間であった。功績者は何度も高尾山に訪れた経験豊かな道案内役の福西さんだろう。また、伴さんの手作りのお菓子も元気を与えてくれたので功績者だろう。



※3 号路の風景、高尾山大見晴園地



※遠くに富士山か？、高尾山頂きの紅葉

紅葉の高尾山観光のため、京王高尾山駅には次から次と観光客が登場する。それ故、往復の清滝駅と高尾山駅でのケーブルカー（運賃片道 480 円）待ちにそれぞれ 30 分～40 分の待ち時間を要する。チラシによると高尾山ケーブルカーは日本一急こう配（31 度 18 分）とある。待ち時間は往復で 1 時間 20 分位要したが、紅葉の高尾山を 7 名全員で散策でき満足の日となった。14 時頃も清滝駅には沢山の行列があった。反省会は八王子駅ビルに移動して開催する。本日は天気やメンバーにも恵まれ、最高の高尾山を満喫でき、楽しい一日を送ることができ天や神に感謝あるのみ。



※高尾山頂にて



※頑張りましたね、反省会